

六月三十日(水)午後三時

大祓式

茅の輪くぐり神事

※ 神事には自由にご参列頂けますが、それぞれマスク着用や

社会的距離等のご配慮をお願い致します。



みんなで祈ろう コロナの終息

「伊奈富神社の創祀と疫病の終息」

伊奈富神社の御創祀は古く、今より二千百十二年前の崇神天皇の五年に遡ります。我が国最初の正史とされる『日本書紀』には崇神天皇の五年、国内に疫病が流行り国民の大半が犠牲となったとの記録があります。翌六年に日本大國魂神、大物主神、諸神を祀り、七年に終息しました。

うけもちのかみなゑおおくにみちのみこと

『日本書紀』の記録にはありませんが、当社の御祭神である保食神那江大國道命が崇神天皇五年に現在の地に祀られたのは、この出来事に関するものと思われれます。当時、崇神天皇はこの疫病の終息に心身を碎き、誠の心でもって国内の神々を祀り、その一つがこの伊奈富神社でした。

大祓式とは日常において知らず知らずに犯した罪、心身の穢れ、一切の災厄を消滅させ、人間本来の清浄な姿をとりもどし、平穩無事な生活を期待する日本古来の習わしです。六月三十日(夏越)と十二月三十一日(年越)に行われ、当社では特に夏越の大祓式に茅の輪を構えて行います。新型コロナウイルス感染症に身も心もまさに「気枯れ(IIヶガレ・穢れ)」てしまった我々の、生き生きとした日常に直るべく、本年も謹んで斎行致します。

この国難とも言うべき難局を皆様の祈りと忍耐で乗り越えて参りましょう。

伊奈富神社

電話 〇五九一三八六一四八五二

七月十四日(水) 午後六時半

「むかしまいりの夕べ」

天王社例祭祭典

こどもちようちん詣り

【こどもちようちん詣り】

●参加費 無料 ●申込み 当日に神社正面駐車場にてちようちんをお受け取り下さい。

●特典 ご参加の方にうちわ・手持提灯・お下がりを授与致します。

当日は天王社前に祈願短冊を吊るします。どうぞお参り下さい。

※本年は神賑踊りや夜店はありませぬ。

伊奈富神社

天王祭

○ 天王祭と疫病退散

天王社はいわゆる祇園さんと呼ばれる、京都八坂

すきのおみこと

神社の御祭神 素戔鳴命をお祀りしております。

平安時代の初めに疫病が流行し、その病魔退散を願

って始められた祇園祭は地方へ広がり、この地方で

は愛知県の津島神社の天王祭りの影響を受けてい

ると思われます。古くは暑さが厳しく疫病が流行り

やすかったこの時期を、無事に過ごせます様、疫病

退散・無病息災・家内安全を願いました。

奇しくも昨年より新型コロナウイルスの疫病が

蔓延し、国難とも呼ぶべき状況となっております。

皆で疫病退散の祈りを捧げましょう。

【疫病退散祈願のお申込み】

疫病退散・家内安全など、皆さんの祈りを短冊に託し、稲生の天王さんに祈りを捧げましょう。

○ 祈願料 お一人 千円

祈願の短冊にお名前とお願いをご記入頂きます。

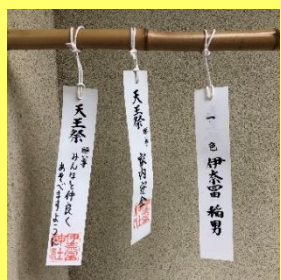
○ 子供あんどん奉納(無料)

ご希望の方は用紙を神社にてお渡しします。

○ お下がり

うちわ、祈願短冊

※短冊は風鈴や適宜の所に吊るすか神棚のそばにお祀り下さい。



裏	表
○ (地区名) (例) 伊奈富 稲男	願い事 ○ 天王祭 (例) 疫病退散 無病息災 (例) こみんなと思いい切り遊べますように



☎059-386-4852